

大震災発災時の「初期消火対策」は  
亀が岡団地の喫緊の課題です

■自治会回覧やホームページでご案内してきました「市民消火栓」(スタンドパイプ)を使用した消火訓練がたくさんの方々の参加を得て、11月22日(日)亀が岡公園及び周辺道路で開催されました。  
■今回のおたよりは、私「市民消火栓」がその様子を知らせします。



■私の前面には、赤い字で「移動式ホース格納箱」と書いてあります。下にはタイヤがついていますよ、移動式ですからね。(私は市内では当自治会が初めての導入)。

発災時、亀団への道が不通になり消防車等が来れず「陸の孤島」になる可能性も!

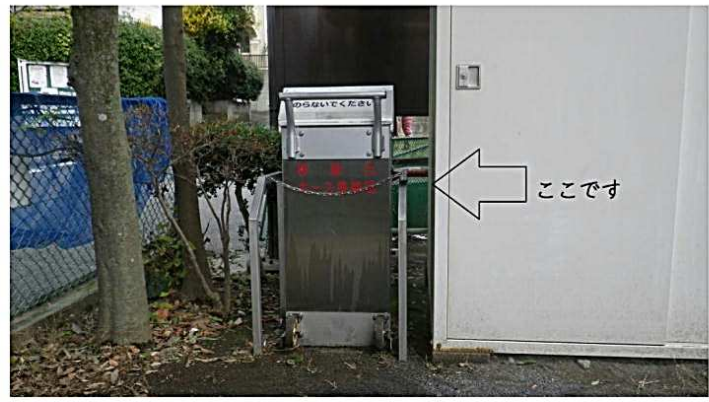
- 次の3つが今回の訓練のめあてです。
- 1 消火栓の位置確認
- 2 消火栓の蓋の開栓
- 3 市民消火栓の使用法

■ 9時には、私が置いてある公園に三々五々来て、先週出来なかつた掃除を役員や班長さん達ですて、きれいにしていました。



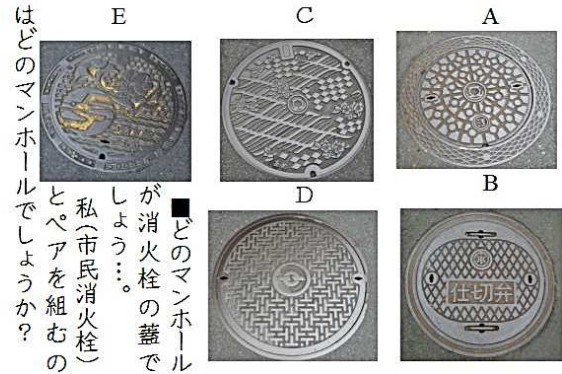
亀だんだより 防災対策 号

■公園の北側の入口を入った右にある「防災倉庫 NO.2」の横に私はいるのです。



■防災対策実行委員会では、私の仲間をあと2台導入する予定です。(自治会費は使いません)

1 消火栓の位置確認①  
■亀団の道路もよく見ると、色々なマンホールがありますね。



■どのマンホールが消火栓の蓋でしょうか?  
私(市民消火栓)とペアを組むの

■ここまでの事前準備も入念に行つて下さつた岸山防災実行委員会さんや荒井顧問さん達の準備も整い、指導して下さる消防車も到着し、いよいよ訓練が始まります。



■正解は「黄色いワケ」で囲まれたマンホールです。(団地内の道路の色々な所にあります)





3 市民消火栓の使用法



■ 集合していただき、木村副会長が進行するなか、吉田会長がまず挨拶。そして、消防署の方々のご指導を仰ぎます。



↑ 巻いてあるホースを取り出します  
← 汚れた水を抜いた後、スタンドパイプを取り付け、ホースと接続します



■ 私を開けるとこんなです。



2015  
● 皆様のご協力に感謝申し上げます  
池が岡自治会防災対策実行委員会



ご覧下さい。



■ このあと、たくさんの方々の訓練の様子が記録されましたので、つづきは自治会ホームページの動画(YouTube)でご覧下さい。



■ 皆さん真剣に説明をきいています。



2 消火栓の蓋の開栓

蓋を開ける道具も箱の中から



この黄色の枠のマンホールです

1 消火栓の位置確認②